

2013 年 12 月 17 日

講演者 殿

研究代表者 長田 博文 (九州大)
副: 福島 竜輝 (京都大)

講究録原稿について

研究集会

確率論シンポジウム

2013 年 12 月 17 日 ~ 12 月 20 日

の御講演内容を数理解析研究所講究録として収録したいと考えています。
2014 年

御原稿を下記の編集責任者宛 3 月 31 日までに送付下さい。

[原稿送付先]

長田 博文 (Hirofumi Osada) 宛

osada@math.kyushu-u.ac.jp

(〒819-0395 福岡市西区元岡744
九州大学大学院 数理学研究院)

(Title)

Shigefumi Mori
Research Institute for Mathematical Sciences,
Kyoto University

[本文が続く.]

Research Institute for Mathematical Sciences
Kyoto University
Kyoto 606-8502
JAPAN
E-mail address:@.....kyoto-u.ac.jp

京都大学・数理解析研究所 森 重文

原稿規定（講究録）

講究録は原稿をB5判に縮小して複写しますので下記のことを厳守して作成して下さい

1. TeXやワープロ等を使用される場合は、A4判で上3 cm、下3 cm、左2.5 cm、右2.5 cm を空けてその範囲内で作成してください。片面印刷として下さい。
2. 和文手書き原稿の場合は、所定の原稿用紙に黒色インクまたは黒ボールペンで書いて下さい。鉛筆書きは不可です。原稿用紙は共同利用掛に御請求下さい。
和文の字はマス目いっぱい大きさに、文中の欧文及び数式は2マスに3～4字詰めて書いて下さい。
3. 章が改まったときでも、同じページに続けて書いて下さい。
4. 頁数は、上ではなく必ず下中央に書いて下さい。通し頁数は当研究所で記入します。
5. 本文の前に標題、所属、姓名、所属英語名を書いて下さい。

参考1：標題等配置例

（標題）

京都大学・数理解析研究所 森 重文
Shigefumi Mori
Research Institute for Mathematical Sciences,
Kyoto University

〔本文が続く〕

6. 英文の場合には、所属、姓名が原稿の末尾でも構いません。

参考2：標題等配置例（英文の場合）

講究録（原稿）の作成上の注意

1. 原稿は別紙の原稿規定に従って作成して下さい。
2. 原稿の枚数は、全体で300枚以内を標準としていますので、一つの講演については約 9 枚以内となります。
3. 原稿は和文・欧文のいずれでも結構ですが、B5判の規格に縮小されますので鮮明な原稿にして下さい。
4. 原稿の形態は、通常の論文(original paper)の他、予報(announcement)、既発表論文の要約(résumé)、概説(survey article)等でも結構です。また、内容的には萌芽的アイデアの紹介、未解決問題の提起、意味ありと思われる失敗の報告、理論の背景にある哲学あるいは実験結果、将来の展望等、その形態の故に、一般の（数理科学の）学術誌への投稿になじまないものも（研究代表者が学術的価値ありと判断する限り）歓迎します。
5. 講究録は Preprint Archive ではありません。講究録に投稿した論文をそのままの形で、或いはその翻訳を、他誌に投稿することは許されません。また、他誌に投稿した論文をそのままの形で講究録に投稿することも許されません。
6. 講究録は、印刷して発行するとともに、（電子化公開に同意しない著者の原稿を除いて）京大機関リポジトリおよび数研ホームページに公表しております。電子化公開に支障がおありの場合は、原稿提出時に下記研究代表者へその旨ご連絡下さい。
7. その他、講究録に関するお問い合わせは、研究代表者または当掛までお申し出下さい。
なお、本講究録の編集責任者は研究代表者(長田 博文氏)です。ので、原稿は各自研究代表者宛に送付願います。

京都大学数理解析研究所
共同利用掛
TEL: 075-753-7256